

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
養護内容		小島 久司	演習	1	前期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	保育士資格必修			
学習目標	児童福祉施設での養護と地域社会との関係を理解し、施設での養護児童の生活のあり方を考える。また、児童支援に必要な職員準拠枠に必要とされるスーパービジョンシステム、また職員のチーム化に不可欠な姿勢を学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	地域社会と児童養護施設	施設と社会との関係、児童養護施設の機能と役割			
2	入所児童の特殊性	養育環境がパーソナリティに与える影響を理解する。			
3	施設養護と近接領域との関係	児童相談所、学校、保健所、医療機関等と、家庭との連携の過程			
4	施設での躰と権利擁護	日常生活の流れと児童の生活リズム、遊び（創造）と躰の重要性 施設生活における児童の権利擁護について			
5	入所児童の権利擁護	入所児童の意見を尊重した施設運営について			
6	施設における記録の実際	記録の意義と事例を通して記録の方法			
7	ケースカンファレンスとケーススタディ	カンファレンスとスタディの比較、児童養護施設における職員チーム化の重要性			
8	生活支援の取り組みと企画のあり方	生活支援（日課等）の意義、入所児童の主体性を尊重した支援のあり方について。			
9	養護児童の理解のあり方と施設職員の役割	共感的理解のための福祉施設における職員準拠枠の重要性 チームワークとチームケアの概念をとおして考える。			
10	養護児童の理解と対応	共感的理解のためのコミュニケーションのあり方			
11	ケースワークのあり方	多様な機関との連携のもと、児童支援が展開されていることを学ぶ。			
12	福祉施設でのスーパービジョンの意義	スーパービジョン関係は、児童と職員との関係に重なることに気づき、受容のための前提であることを理解する。スーパービジョンの意義・目的と児童（幼児）と職員の関係			
13	リスクマネジメント	危機管理のあり方 入所児童の安全・安心した生活のあり方			
14	児童養護施設における課題及び職員の役割	児童養護施設における社会的機能及び今日的課題と職員の役割			
15	虐待の予防対策	予防対策としての自治体による要保護児童対策の必要性			
参 考 書	吉澤英子他編 保育・看護・福祉プリマーズ③「養護原理」 ミネルヴァ書房 2004				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	児童養護施設の実際について講義するので、しっかり聴くこと。				
評価の方法と時期	定期試験における論述試験、授業態度などを総合して評価する。				